

動物園学Ⅲ

AC コース専門科目 2年 後期 96時間 6単位 講義

講師 葛西宣宏・野瀬修央 東昌範

実務経験のある授業科目	有
実務経験の内容	動物園/水族館における動物の展示・繁殖・研究・解説・飼育管理
学科・クラス指定等	2年生 ACコース
学習目標	動物園は老若男女、不特定多数の方が利用する施設になる。来園者が安心して安全で快適に過ごせる時間を提供することは最優先事項である。職員にとっても、安全な職場でなければならない。そのため日ごろよりリスクの洗い出し、対応マニュアルの作製と定期的な訓練が重要となる。この単元では動物園での危機管理に関し、リスクの種類、対応、関係機関との連携等リスク・マネジメントについて学び、労働安全衛生の重要性の認識を持たせ、対応する職員としての危機意識の醸成を促す。
学 び の キーワード	リスクの種類 動物の脱出 動物による事故 感染症 自然災害 火災・機材の故障・設備破損・施設の劣化 リスク・マネジメント
準備学習及び復習の内容・履修条件	教科書、事前配布印刷物の通読。各自での資料収集を行い、メディア等に取り上げられた事例について原因、対応等を想定したレポートの作成を行う。
授業方法	スライド、ホワイトボードを用い行う。公益社団法人・日本動物園水族館協会発行のさまざまな過去の事例を紹介した資料を配布し、各自で対応を想定し思考し文章にまとめる。
成績評価基準	後期試験における得点及び節目に行う、レポート作成の内容により評価を行う。
備 考	
授業回数	授業内容
1 危機管理	リスクの種類 動物の脱出 動物による事故
2	感染症 自然災害 動物舎の経年劣化・破損
3	事故・違法行為
4	救護の優先順位 危機管理体制 緊急連絡網
5	対応マニュアル 訓練
6	動物による職員の事故防止 観客の事故防止 脱出防止
7	安全対策を含めたトレーニングについて

8	安全対策を含めたトレーニングについて
9	感染症対策 共通感染症対策（従事者、来園者）
10	動物・施設対策 危機管理プラン
11	関連法規 動物園の消毒
12	動物舎内の消毒 放飼場内の消毒 担当者の消毒
13	触れ合いにおける来園者の消毒
14	輸送箱の衛生管理
15	消毒薬の使用上の注意
16	博物館における施設管理・リスクマネジメントまとめ